



エコ・ファーストの約束 (更新書)

～環境先進企業として地球環境保全の取り組み～

環境大臣 中川 雅治 殿

平成 30 年 4 月 27 日

日産自動車株式会社
社長 兼 最高経営責任者

西川 廣人

日産自動車株式会社は、環境理念である「人とクルマと自然の共生」の実現のために、事業活動やクルマの走行によって生じる環境への依存と負荷を自然が吸収可能なレベルに抑え、豊かな自然資産を次世代に引き継ぐことを目指します。

当社は「ニッサン・グリーンプログラム2022」のもと、以下の4つの重要課題と1つの事業基盤強化を達成すべく、2022年度までの取り組みを進めて参ります。

気 候 変 動

クルマの電動化、知能化、革新的な未来のモノづくりを通じ
社会のCO2削減を進めます

- 新車からのCO2排出削減-40% ('00年度比; 日本、アメリカ、欧州、中国)
- 企業活動でのグローバル販売台数あたりのCO2削減-30% ('05年度比)

資 源 依 存

資源を効率的かつ持続的に使う仕組みと、効果的にクルマを
活用できるサービスを創造します

- クルマの生産において使用する新規天然資源の削減
- 生産拠点から発生する廃棄物の削減
- 工場からの廃棄物の最終処分率を低減

大 気 品 質

クルマの排出ガス低減と、車室内の快適な空気環境を作り出し、
人の健康をまもり、生態系への影響を抑えます

- 車室内の空質環境を向上させる技術の実用化に向けて開発の促進
- クルマの生産に伴い発生するVOC(揮発性有機化合物)を削減

水 資 源

水使用量の削減と水質の管理を通じて、生態系への影響と依存に
配慮したモノづくりをすすめます

- 工場でのグローバル生産台数あたりの水使用量削減-21% ('10年度比)

事業基盤の強化

環境マネジメントをさらに強化します

- 環境コンプライアンス順守の徹底
- クルマや新技術のライフサイクルでの負荷モニタリングプロセスを充実
- サプライヤーや次世代カスタマー、NGOを含むステークホルダーと連携し環境課題の低減に向け活動します。

日産自動車株式会社は、上記取り組みの進捗状況を確認し、結果について環境省への報告、ならびに定期的な公表を行って参ります。

NISSAN MOTOR CORPORATION

